

13-D25-1		クリニカル・パス			
パス名	子宮全摘術 (腹式・腔式)	外来 医師		主治医	
		外 来 看護師		病 棟 看護師	

目標

良好な状態で手術が受けられ、合併症なく経過する。
退院後の日常生活に必要な知識が得られ、早期に社会復帰できる。

問題点

術後C P : 後出血、感染、麻痺性イレウス

ID

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日		
経過	入院日 入院時間(:)	手術前日	当日(術前)	当日(術後) 帰室時間(:)	手術後1日目	術後2日目	術後3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	退院日(8日目) 退院時間(:)	
目標	手術に対する不安が最小限となる			多量の出血がない		出血が少量もしくはみられない 創部の感染徴候がない 排ガスがある		排便がある					
検査	DIP (指示あれば実施)				血液、尿検査(術後2)				血液検査 (産婦フォロー)				
食事	21時以降絶飲食		絶飲食		昼より流動食		朝より五分粥食		朝より全粥食		朝より並食		朝食後退院
観察・処置	体温												
	脈拍	/min	/min	/min									
	血圧	mmHg	mmHg	mmHg									
	便												
	腰痛												
	性器出血												
	処置	膈処置・陰毛処理後、入浴 グ リセリン浣腸120ml 眠前		グ リセリン浣腸120 ml 早朝 ネムバノド 膈洗浄 ヨド・ホルムガ-ゼ 挿入 手術室にて バルーンカテーテル挿入 手術室にて 硬麻チューブ 挿入 (要処置箋)		時 分 帰室 酸素 6L 40% (術後12時間後まで) 術後VS観察は 経過観察表に記載	尿管						
注射・内服	眠前内服薬 マイスリー 5mg 1錠 ブルセニド 2錠		麻酔前投薬(要処方箋) ヴィーンF 500ml 留置針 18G 挿入 生食 100ml フルマリン 1g (手術室持参) 指示時のみ 塩酸モルヒネ 1A (手術室持参)		アクチット 500ml アドナ 1A トランサミン S 1A ポタコールR 500ml アクチット 500ml 生食 100ml フルマリン 1g (術後6時間) ポタコールR 500ml	生食 100ml フルマリン 1g (朝) アクチット 500ml (朝) NリノNaロクシリンジ 生食 100ml フルマリン 1g (夕) アクチット 500ml (夕) NリノNaロクシリンジ	生食 100ml フルマリン 1g (朝) アクチット 500ml (朝) NリノNaロクシリンジ 生食 100ml フルマリン 1g (夕) NリノNaロクシリンジ	生食 100ml フルマリン 1g (朝) NリノNaロクシリンジ 生食 100ml フルマリン 1g (夕) 夕点終了後 留置針抜去					
行動	制限なし 入浴可	制限なし 入浴可	洗面確認後 手術着に着替える	床上安静	自力座位可 (可能なら午後より歩行可) 全身清拭	点滴終了後歩行可	発熱なければ シャワー シャンプー介助 シャワー無理なら 全身清拭					シャワー可 入浴は次回診察まで 不可	
説明・反応	医師より説明 手術同意書 麻酔科医より説明 麻酔科問診表 看護師より説明 入院生活について 術前オリエンテーション 薬剤師より説明 薬剤管理指導	看護師より説明 手術物品確認 ・バスタオル ・T字帯 ・ナプキン DVTについて	看護師より説明 家人に手術室の場所 及び入室方法		看護師より説明 早期離床の必要性						医師より説明 退院指導 看護師より説明 パンフレットに沿って 療養生活について説明 次回外来受診日 月 日 時 分		
追加・備考	血液検査チェック 術後1日目、5日目 (血尿) 初期オーディット		手術が午後の場合 術前輸液 ヴィーンF 500ml (要処方箋)	疼痛、発熱時 ボルタレン座薬 25mg (要処方箋) 酸素継続の場合は要処置箋	貧血あれば フェロミア プルタルール 2A 不眠時 レンドルミン 1P (要処方箋) 疼痛・発熱時 ロキソニン 1P(要処方箋)	ガスない場合 ワゴスチグミン 1mg 1A (要処方箋)	便通ない場合 グ リセリン浣腸120ml (要処方箋)	便通ない場合 カマダ (要処方箋)					
バリアンス													
巡視													
署名													

子宮摘出手術を受けられる












































































様へ

目標

良好な状態で手術が受けられ、合併症なく経過する。
退院後の日常生活に必要な知識が得られ、早期に社会復帰できる。

説明医師

看護師

月日	月 日	(月 日)	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日～	金曜日入院の場合のみ 手術前々日	手術前日	当日術前	当日術後	手術後1日目	術後2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	退院日 (8日目)
検査						血液と尿の検査を 行います 				血液の検査を行います 			
食事	制限ありません	制限ありません	21時以降は 絶飲食となります	絶飲食です 		昼食から 流動食となります	朝食から 五分粥食となります	朝食から 全粥食となります	朝食から 普通食となります				朝食後、 退院となります
	        					                    							
処置・観察			お臍の処置と陰毛の処理 を行います 就寝前に浣腸を いたします	朝7:00頃に浣腸を いたします 手術前に尿管を 挿入します (手術室にて)	術後12時間、酸素マスク がついています 手術後は頻回に 体温・脈拍・血圧を 測定します		歩行可能な方は尿管を 抜去します 創の状態を確認します 便通がない場合 浣腸をいたします						診察をします 
	体温・脈拍・血圧を 測定します 												
注射・内服	手術後に使用する抗生剤 のテストを行います		就寝前に眠剤を服用 します 	手術前に注射と 点滴を行います   点滴用の針を 挿入します	手術後の点滴が あります  痛み、むかつきなどが あれば看護師に申し出て ください	点滴が朝、夕に あります 	点滴が朝、夕に あります 	点滴が朝、夕に あります 					
行動	制限ありません 入浴可  	制限ありません 入浴可  	制限ありません 入浴可  	洗面後、手術着に着替え てください 	床上安静となります 	座位ができます 午後より可能なら歩行 できます   全身を清拭します 	点滴終了後 歩行できます 	発熱がなければシャワー できます (シャワーが無理な場合 は清拭をします)  					退院となります  シャワーできます (入浴は次回診察まで できません) 
説明	医師より手術と治療 計画についての説明 担当麻酔科医師より 麻酔についての説明 			看護師より家人の方に 手術室の場所と入室方法 の説明 		看護師より早期離床の 必要性の説明 						医師より退院後の治療に ついて説明  看護師より退院後の療養 生活について説明  次回外来受診日 月 日 分	

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

13-D25-2 (金曜日入院) クリニカル・パス					
パス名	子宮全摘術 (腹式・腔式)			外来 医師	主治医
				外 来 看護師	病 棟 看護師

目標

良好な状態で手術が受けられ、合併症なく経過する。
退院後の日常生活に必要な知識が得られ、早期に社会復帰できる。

問題点

術後C P : 後出血、感染、麻痺性イレウス




















































ID

月日経過	月 日(金)	月 日(土)	月 日(日)	月 日(月)	月 日(火)	月 日(水)	月 日(木)	月 日(金)	月 日(土)	月 日(日)	月 日(月)	月 日(火)	
目標	手術に対する不安が最小限となる			多量の出血がない		出血が少量もしくはみられない 創部の感染徴候がない 排ガスがある			退院後の注意事項が理解できる				
検査						血液、尿検査 (術後2)			血液検査 (産婦フォロー)				
食事	21時以降絶食			絶食		昼より流動食			朝より五分粥食		朝より全粥食		朝より並食
観察・処置	体温												
	脈拍	/min	/min	/min	/min								
	血圧	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg								
	便												
	腰痛												
	性器出血												
注射・内服	臍処置・陰毛処理後、入浴 グリセリン洗腸120ml 眠前			グリセリン洗腸120 早朝 ネバノド 腔洗浄 ヨド 綿ガゼ挿入 手術室にて バルーンカテーテル挿入 手術室にて 硬麻チューブ挿入 (要処置)		時 分 帰室 酸素 6L 40% (術後12時間後まで) 術後VS観察は 経過観察表に記載			尿管 腔式の場合 腔内ガゼ、ドレーン抜去 バルーンカテーテル抜去 自尿 検創 硬麻チューブ 抜去				
	眠前内服薬 マイスリー 5mg 1錠 ブルセニド 2錠			麻酔前投薬(要処方箋) ヴィーンF 500ml 留置針 18g 挿入 生食 100ml フルマリン 1g (手術室持参) 指示時のみ 塩酸モルヒネ 1A (手術室持参)		アクチット 500ml アドナ 1A トランサミンS 1A ポタコールR 500ml アクチット 500ml 生食 100ml フルマリン 1g (術後6時間) ポタコールR 500ml			生食 100ml フルマリン 1g (朝) アクチット 500ml (朝) N/リンNaククシリンジ 生食 100ml フルマリン 1g (夕) アクチット 500ml (夕) N/リンNaククシリンジ		生食 100ml フルマリン 1g (朝) N/リンNaククシリンジ 生食 100ml フルマリン 1g (夕) 夕点終了後 留置針抜去		
行動	制限なし 入浴可	制限なし 入浴可	制限なし 入浴可	洗面確認後 手術着に着替える	床上安静	自力座位可 (可能なら午後より歩行可) 全身清拭	点滴終了後歩行可	発熱なければ シャワー シャンプー介助 シャワー無理なら 全身清拭				シャワー可 入浴は次回診察まで 不可	
説明・反応	医師より説明 手術同意書 入院治療計画 麻酔科医より説明 麻酔問診表 看護師より説明 入院生活について 術前オリエンテーション 薬剤師より説明 薬剤管理指導		看護師より説明 手術物品確認 ・バスタオル ・T字帯 ・ナプキン DVTについて		看護師より説明 家人に手術室の場所 及び入室方法			看護師より説明 早期離床の必要性		医師より説明 退院指導 看護師より説明 パンフレットに沿って 療養生活について説明 次回外来受診日 月 日 時 分			
追加・備考	血液検査チェック 術後1日目、5日目 (血尿) 初期オーディット			手術が午後の場合 術前輸液 ヴィーンF 500ml (要処方箋)		疼痛・発熱時 ボルタレン座薬 25mg (要処方箋) 酸素継続の場合は 要処方箋		貧血あれば フェロミア ブルータル2A 不眠時 レンドルミン1P (要処方箋) 疼痛・発熱時 ロキソニン1P (要処方箋)		ガスない場合 ワゴスチグミン 0.5mg 1A (要処方箋)		便通ない場合 グリセリン洗腸120ml (要処方箋) 便通ない場合 カマゲ (要処方箋)	
褥瘡対策													
転倒・転落対策 基準寝具				基準寝具									
パリア ンス													
巡視													
署名													

子宮摘出手術を受けられる (前日入院) 様へ

目標

良好な状態で手術が受けられ、合併症なく経過する。
退院後の日常生活に必要な知識が得られ、早期に社会復帰できる。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	入院日～	当日術前	当日術後	手術後1日目	術後2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	退院日 (8日目)
目標	手術に対する不安を伝えることができない不安が最小限となる		膣から流れ出るような出血がない 創部痛が緩和し、苦痛が最小限で経過する		排ガスがある 離床できる	排便がある				退院後の注意事項について理解できる	
検査			血液と尿の検査を行います  					血液の検査を行います 			
食事	制限ありません	絶飲食です 		昼食から流動食となります	朝食から五分粥食となります	朝食から全粥食となります	朝食から普通食となります				朝食後、退院となります
	 			 	  	  	  	  	  		
処置・観察	お臍の処置と陰毛の処理を行います 就寝前に浣腸をいたします	朝7:00頃に浣腸をいたします 手術前に尿の管を挿入します (手術室にて)	酸素マスクがついています		歩行可能な方は尿の管を抜去します 創の状態を確認します						診察をします 
	体温・脈拍・血圧を測定します 	→	手術後は頻回に体温・脈拍・血圧を測定します 	→	体温・脈拍・血圧を測定します 	→	→	→	→	→	→
注射・内服	就寝前に眠剤を服用します 	手術前に注射と点滴を行います 点滴用の針を挿入します  	手術後の点滴があります 	点滴が朝、夕にあります 	→	点滴終了後に針を抜去します 					
	制限ありません 	洗面後、手術着に着替えてください 	床上安静となります 	座位ができます 午後より可能なら歩行できます  	点滴終了後歩行できます 	発熱がなければシャワーできます (シャワーが無理な場合は清拭をします)  					退院となります  シャワーできます (入浴は次回診察までできません) 
説明	医師より手術と治療計画についての説明 担当麻酔科医師より麻酔についての説明 	看護師より家人の方に手術室の場所と入室方法の説明 		看護師より早期離床の必要性の説明 							医師より退院後の治療についての説明 
	看護師より入院生活と手術物品についての説明 										看護師より退院後の療養生活についての説明 
	薬剤師よりお薬についての説明 										次回外来受診日 月 日 時 分 

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

ID

13-D25-3 (前日入院)		クリニカル・パス	
パス名	子宮全摘術 (腹式・腔式)	外来 医師	主治医
		外来 看護師	病棟 看護師

目標

良好な状態で手術が受けられ、合併症なく経過する。
退院後の日常生活に必要な知識が得られ、早期に社会復帰できる。

問題点

術後C P : 後出血、感染、麻痺性イレウス

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	入院日 入院時間(:)	当日(術前)	当日(術後)	手術後1日目	術後2日目	術後3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	退院日(8日目) 退院時間(:)
目標	手術に対する不安が最小限となる		腔から流れ出るような出血がない		出血が少量もしくはみられない 創部の感染徴候がない 排ガスがある		排便がある				
検査	麻酔科対診 DIP (予約あれば実施)		血液、尿検査(術後2)		血液検査 (産婦フォロー)						
食事	21時以降絶食 入院時指示食		絶食		昼より流動食		朝より五分粥食		朝より全粥食		朝より指示食
観察・処置	体温	時 分 室		体温							
	脈拍	酸素 6L 40% (_____ まで)		脈拍							
	血圧	術後VS観察は 経過観察表に記載		血圧							
	便			ガス/便							
	腰痛			嘔気/嘔吐							
	性器出血			腸蠕動							
	臍処置・陰毛処理後、入浴	グ リレリン洗腸120ml 早期		創痛							
	グ リレリン洗腸120ml 眠前		創出血								
	ネムバント		性器出血								
	腔洗浄 ヨード綿が 挿入		尿管								
	手術室にて バルンカテーテル挿入		腔式の場合 腔内ガゼ、ドレン抜去								
	手術室にて 硬麻チューブ挿入 (要処置)		バルンカテーテル抜去 自尿 検創 硬麻チューブ 抜去								
注射・内服	眠前内服薬 マイスリー 5mg 1錠 ブルセニド 2錠		麻酔前投薬(要処方箋) ブリンF 500ml 留置針 18G 挿入	生食 100ml フルマリン 1g (手術室持参) 指示時のみ 塩酸モルヒネ 1A (手術室持参)	生食 100ml フルマリン 1g (朝) アクチット 500ml (朝) ﾊﾊﾞﾘﾝNaOｸｸｸｼﾘﾝｼﾞ	生食 100ml フルマリン 1g (朝) アクチット 500ml (朝) ﾊﾊﾞﾘﾝNaOｸｸｸｼﾘﾝｼﾞ	生食 100ml フルマリン 1g (朝) ﾊﾊﾞﾘﾝNaOｸｸｸｼﾘﾝｼﾞ	生食 100ml フルマリン 1g (夕) 夕点終了後 留置針抜去			
行動	制限なし 入浴可		洗面確認後 手術着に着替える	床上安静	自力座位可 (可能なら午後より歩行可)	点滴終了後歩行可	発熱なければ シャワー	シャンプー介助	シャワー無理なら 全身清拭	シャワー可 入浴は次回診察まで 不可	
説明・反応	医師より説明 手術同意書 麻酔科医より説明 麻酔科問診表 看護師より説明 入院生活について 術前オリエンテーション 手術物品確認 ・バスタオル・T字帯・ナプキン DVTについて 薬剤師より説明 薬剤管理指導		看護師より説明 家人に手術室の場所 及び入室方法		看護師より説明 早期離床の必要性					医師より説明 退院指導	看護師より説明 パンフレットに沿って 療養生活について説明
追加・備考	初期オーディット		手術が午後の場合 術前輸液 ブリンF 500ml (要処方箋)	疼痛・発熱時 ボルタレン座薬 25mg (要処方箋)	不眠時 レンドルミン 1P (要処方箋)	ガスない場合 ワゴスチグミン 1mg 1A (要処方箋)	便通ない場合 グ リレリン洗腸120ml (要処方箋)				
バリアンス	褥瘡対策										
巡視	転倒・転落対策										
署名	標準寝具										